

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-246841

(P2004-246841A)

(43) 公開日 平成16年9月2日(2004.9.2)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

G06F 17/60  
A61B 5/00  
A61G 12/00  
// A61J 3/00

F I

G06F 17/60 126S  
G06F 17/60 126Z  
A61B 5/00 102C  
A61G 12/00 ZECZ  
A61J 3/00 31OK

テーマコード (参考)

4C341

審査請求 未請求 請求項の数 4 書面 (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2003-72828 (P2003-72828)

(22) 出願日 平成15年2月10日 (2003.2.10)

(71) 出願人 592053480

藤堂 真二郎

大阪府大阪市阿倍野区昭和町3丁目5番1号

(72) 発明者 西脇 康文

兵庫県川西市けやき坂2丁目16番5号

Fターム(参考) 4C341 LL30

(54) 【発明の名称】 医療介護業務一元管理システム

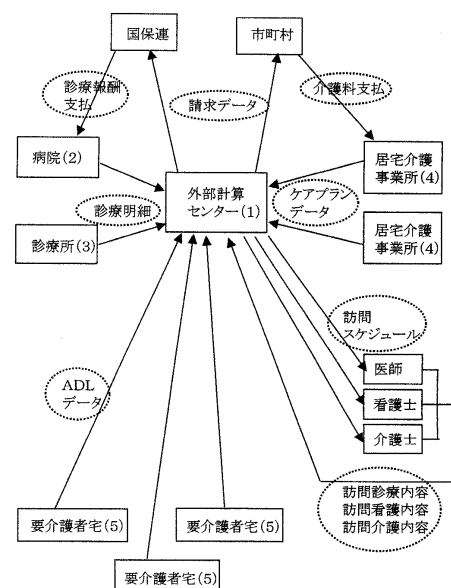
(57) 【要約】 (修正有)

【課題】地域の医療業務や介護業務において、訪問診療、訪問看護、訪問介護の実績管理、病院業務のオーダリング、診療報酬や介護報酬の請求、財務管理、労務管理などを、一元管理できるようにする。

【解決手段】外部計算センター(1)と、病院(2)と、診療所(3)と、居宅介護事業所(4)と、要介護者(5)宅を電話回線で接続し、要介護者宅には、ADL測定装置を設置し、データ送受信装置を接続する。居宅介護事業所では、要介護者のケアプランを作成し、訪問看護師や訪問介護士の訪問スケジュールを作成する。病院では、診療、薬剤投与、レントゲン撮影予定などを管理する。外部計算センターでは、診療所や病院の医師と、看護師と介護士の要介護者宅への訪問スケジュールの全体の管理や、訪問診療、訪問看護、訪問介護の実績管理および請求業務と、診療所や病院の診療報酬や、投与薬剤などの請求業務などを行う。

【選択図】 図1

外部計算センターでの処理の流れ図



## 【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】

外部計算センターでは、病院や診療所の医師と看護師と介護士の、要介護者宅への訪問診療スケジュール、訪問看護スケジュール、訪問介護スケジュールの全体の管理と、訪問診療、訪問看護、訪問介護の実績管理とそれらの請求業務と、病院や診療所の診療報酬の実績管理とそれらの請求業務を行い、病院や診療所では、診療報酬の実績管理とそれらの請求業務を行い、居宅介護事業所では、要介護者の介護度に応じて要介護者のケアプランを作成し、そのケアプランに基づいて、訪問看護師や訪問介護士の要介護者宅への訪問スケジュールを作成し、要介護者宅では、体温、脈拍、血圧などを測定する A D L 測定装置を設置し、A D L 測定装置にはデータ送受信装置を接続し、要介護者宅で測定した体温、脈拍、血圧などのデータを、要介護者宅と外部計算センターと病院との間で、送受信できるようにし、要介護者宅で測定した体温、脈拍、血圧などのデータを、外部計算センターで一元管理するようにした、医療介護業務一元管理システム。 10

## 【請求項 2】

要介護者宅の A D L 測定装置に接続したデータ送受信装置から、携帯電話を利用して、要介護者宅で測定した体温、脈拍、血圧などのデータを、外部計算センターと送受信するようにした、請求項 1 に記載のシステム。

## 【請求項 3】

病院では、オーダリングシステムによって、外来患者および入院患者に対する診療内容、処方箋、薬剤投与指示、食事箋、レントゲン撮影予定などを管理するようにした、請求項 1 に記載のシステム。 20

## 【請求項 4】

外部計算センターでは、複数の病院や複数の診療所の薬剤などの一括仕入れと、複数の病院や複数の診療所の買掛管理、在庫管理、原価管理、財務管理、給与管理を行うようにした請求項 1 に記載のシステム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

## 【発明の属する技術分野】

本発明は、地域の医療業務や介護業務において、訪問診療、訪問看護、訪問介護の実績管理、病院業務のオーダリング、診療報酬や介護報酬の請求、財務管理、労務管理などを、データを連動して一元管理し、インターネット網を介して必要なデータを送受信するシステムに関するものである。 30

## 【0002】

## 【従来の技術】

従来、地域医療に関する医療業務や介護業務において、訪問診療、訪問看護、訪問介護の実績管理、病院業務のオーダリング、診療報酬や介護報酬の請求、財務管理、労務管理などを行う場合、それぞれの業務だけを、個別の病院や個別の居宅介護事業所等で、個別に管理するシステムはあった。しかし、看護師や介護士が要介護者宅に訪問する時に、時間や巡回路を無駄なく適切に設定することは困難であり、それらの処理をするために必要なデータを一元管理することは、困難であった。 40

## 【0003】

## 【特許文献 1】

特開 2001-282928 号公報

## 【特許文献 2】

特開 2002-109073 号公報

## 【特許文献 3】

特開 2002-169888 号公報

## 【0004】

## 【発明が解決しようとする課題】

本発明のシステムは、地域の医療業務や介護業務において、訪問診療、訪問看護、訪問介 50

護の実績管理、病院業務のオーダリング、診療報酬や介護報酬の請求管理、要介護者のA D L測定データの管理、財務管理、労務管理などを、それぞれのデータを連動し、一元管理できるようにし、さらに、インターネット網を介してデータを送受信できるシステムを提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために、本発明では、外部計算センター（１）と、病院（２）と、診療所（３）と、居宅介護事業所（４）と、要介護者（５）宅を電話回線で接続し、必要なデータを外部計算センター（１）で一元管理できるシステムを構築する。

【0006】

要介護者（５）宅には、体温、脈拍、血圧などを測定するA D L測定装置（６）を設置し、A D L測定装置にはデータ送受信装置（７）を接続出来、データ送受信装置（７）に携帯電話を接続して、体温、脈拍、血圧などのデータ（以降A D Lデータと呼ぶ）をデータを外部計算センター（１）と送受信できるようになっている。

【0007】

居宅介護事業所（４）では、要介護者の介護度に応じて、要介護者のケアプランを作成し、そのケアプランに基づいて、看護師や介護士の要介護者宅への訪問スケジュールを作成する。関係するすべての居宅介護事業所（４）で作成した訪問スケジュールデータは、外部計算センター（１）に送信する。

【0008】

病院（２）では、オーダリングシステムによって、外来患者および入院患者に対する診療内容、処方箋、薬剤投与指示、食事箋、レントゲン撮影予定などを管理する。

【0009】

外部計算センター（１）では、複数の居宅介護事業所（４）から送られたすべての訪問スケジュールに基づき、実働可能な診療所や病院の医師と、看護師と、介護士の要介護者宅への訪問スケジュールの全体の管理を行う。

【0010】

また、訪問診療、訪問看護、訪問介護で行った、診療内容と時間、看護内容と時間、介護内容と時間、の実績管理および請求業務と、複数の診療所や複数の病院での診療報酬や、投与薬剤などの請求業務などを行い、複数の診療所や複数の病院の薬剤などの一括仕入れを行うなどで、複数の診療所や複数の病院の買掛管理、在庫管理、原価管理、財務管理、給与管理を効率的に行う。

【0011】

そのため、各患者、各要介護者に対する費用対効果がより明確に判断され、診療所や病院の医師、看護師、介護士を含む従業員の労務管理を適切に行うことが出来る。

【0012】

【発明の実施の形態】

本発明のシステムの実施の形態を図面に従って説明すると、

病院（２）では、外来患者に対しては、医者が診察を行い、薬剤の処方指示を行い、指示の内容を処方箋としてオーダリングシステムに入力する。薬局では、その処方指示された薬剤を調合し、窓口に提出する。

【0013】

入院患者に対しては、入院病室の割り当てや、投与する薬剤や注射の指示を、処方箋としてオーダリングシステムに入力する。薬局では、その処方箋に基づいて薬剤や注射を調合し、割り当てられた病室に配布する。

【0014】

レントゲンなど検査が必要な患者に対しては、医者が、必要な検査の指示をオーダリングシステムに入力する。例えば、レントゲン検査の指示が出たときは、指示の内容がレントゲン室に伝送され、検査の予定日時が医者に返送される。

【0015】

10

20

30

40

50

また、毎日の体温、血圧、脈拍など必要な測定データは、オーダリングシステムによりグラフなどに表示され、医者の回診の参考とされる。入院患者の食事については、それぞれの患者ごとに適切な食事方法を、食事箋としてオーダリングシステムに入力する。入力された食事箋は調理室に伝送され、調理室ではその食事箋に基づいて入院患者の食事が作られ、各病室に配布される。

【0016】

各居宅介護事業所（４）では、要介護者（５）の介護度に応じて、介護スケジュールが作成される。作成された介護スケジュールは、外部計算センター（１）へ送信される。外部計算センター（１）では、各居宅介護事業所（４）からのスケジュールを調整し、調整後の介護スケジュールを各居宅介護事業所（４）へ返送する。

10

【0017】

介護スケジュールには、担当医の訪問診療スケジュール、担当看護師の訪問看護スケジュール、担当介護士の訪問介護スケジュールが設定されており、そのスケジュールに基づいて訪問診療、訪問看護、訪問介護が行われる。

【0018】

要介護者（５）宅には、ＡＤＬ測定装置（６）が設置されており、要介護者（５）は自分で体温、脈拍、血圧が測定できるようになっている。測定したそれらのＡＤＬデータは、ＡＤＬ測定装置（６）に保存できるようになっており、訪問看護師が訪問した時に、データ送受信装置（７）によって、外部計算センター（１）へ送信される。

【0019】

要介護者のＡＤＬデータは、データ送受信装置に携帯電話を接続して、接続した携帯電話から外部計算センター（１）へ送信する。

20

【0020】

送信された要介護者（５）のＡＤＬデータは担当医師のいる診療所（３）に伝送され、担当医師はそのＡＤＬデータに基づいて、要介護者（５）の病気の予見や食事療法などの指導を迅速、適切に行うことが出来、来院や訪問診療が必要かどうかを判断する。

【0021】

訪問看護師や訪問介護士は、居宅介護事業所（４）から指示された訪問スケジュールに基づいて要介護者宅を順番に訪問するが、当日の訪問スケジュールは、居宅介護事業所（４）に行って直接指示をもらってもよいし、携帯電話を使用して、外部計算センター（１）から当日の訪問スケジュールを受信することもできる。

30

【0022】

また、訪問スケジュールに従って要介護者宅を訪問している途中に、予定外の要介護者宅へ臨時に訪問しなければならなくなった時は、外部計算センター（１）から、臨時の訪問先の近くにいる訪問看護師や訪問介護士に、臨時の訪問先および看護や介護の指示のデータを送信する。臨時の訪問先のデータを受信した訪問看護師や訪問介護士は、当初の訪問スケジュールの途中に、臨時の訪問先を訪問し、指示に基づいた処置を行う。

【0023】

また、訪問看護師や訪問介護士が要介護者宅を訪問して、指示された処置を行う場合には、要介護者宅に入室した時間と退出した時間と、処置した内容を、携帯電話を使用して外部計算センター（１）に送信する。

40

【0024】

外部計算センター（１）では、病院（２）については、請求に関わる業務の明細の管理、買掛管理、在庫管理、原価管理、財務管理、給与管理、を行う。居宅介護事業所（４）については、訪問診療の医師、訪問看護の看護師、訪問介護の介護士のスケジュール管理と、要介護者の属性データとケアプランの管理を行う。病院や診療所の医師については、訪問診療の実績管理を行う。看護師や介護士については、訪問看護、訪問介護の実績管理と、要介護者宅への訪問スケジュール管理を行う。

【0025】

【発明の効果】

50

10

10

## 10

10

10

10

10

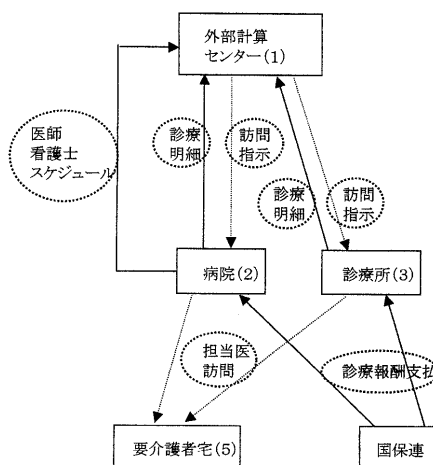
10

## 10

- 10

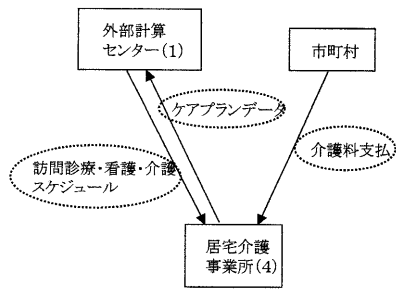
【图 2】

病院、診療所での処理の流れ図



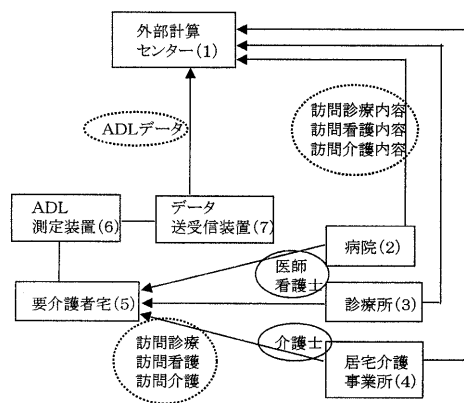
【図 3】

居宅介護事業所での処理の流れ図



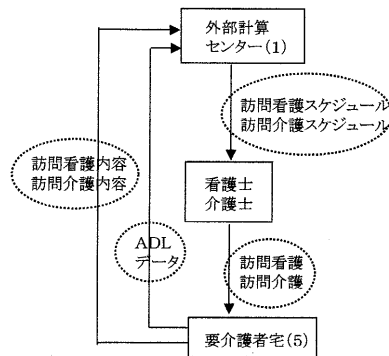
【図 4】

要介護者宅での処理の流れ図



【図 5】

訪問看護師、訪問介護士の処理の流れ図



|                |                                                                                                                                                                                                                                                                                    |         |            |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|------------|
| 专利名称(译)        | 医疗护理运营中央管理系统                                                                                                                                                                                                                                                                       |         |            |
| 公开(公告)号        | <a href="#">JP2004246841A</a>                                                                                                                                                                                                                                                      | 公开(公告)日 | 2004-09-02 |
| 申请号            | JP2003072828                                                                                                                                                                                                                                                                       | 申请日     | 2003-02-10 |
| [标]申请(专利权)人(译) | 藤堂真二郎                                                                                                                                                                                                                                                                              |         |            |
| 申请(专利权)人(译)    | 藤堂真二郎                                                                                                                                                                                                                                                                              |         |            |
| [标]发明人         | 西脇康文                                                                                                                                                                                                                                                                               |         |            |
| 发明人            | 西脇 康文                                                                                                                                                                                                                                                                              |         |            |
| IPC分类号         | A61B5/00 A61G12/00 A61J3/00 G06Q50/22 G06F17/60                                                                                                                                                                                                                                    |         |            |
| FI分类号          | G06F17/60.126.S G06F17/60.126.Z A61B5/00.102.C A61G12/00.ZEC.Z A61J3/00.310.K A61G12/00.ZZE.C G06Q50/22 G06Q50/22.110 G16H20/00                                                                                                                                                    |         |            |
| F-TERM分类号      | 4C341/LL30 4C047/JJ31 4C047/KK18 4C047/KK19 4C047/NN20 4C117/XA07 4C117/XB01 4C117/XB15 4C117/XC19 4C117/XE13 4C117/XE15 4C117/XE23 4C117/XG19 4C117/XH02 4C117/XH15 4C117/XJ03 4C117/XJ33 4C117/XJ36 4C117/XL06 4C117/XL22 4C117/XQ07 4C117/XQ20 4C117/XR04 5L099/AA00 5L099/AA11 |         |            |
| 外部链接           | <a href="#">Espacenet</a>                                                                                                                                                                                                                                                          |         |            |

# 摘要(译)

[问题]能够集中管理当地医疗和护理服务中的就诊医疗，就诊护理，就诊护理绩效管理，医院手术订购，医疗费和护理费的账单，财务管理，劳动管理等。要做。[解决方案]外部计算中心（1），医院（2），诊所（3），家庭护理机构（4）和受护理者（5）的房屋通过电话线连接以进行护理。ADL测量设备安装在人的房屋中，并且连接了数据发送/接收设备。在家庭护理机构中，创建了针对护理对象的护理计划，并为拜访护士和拜访看护者制定了拜访时间表。医院负责管理医疗，药物管理，X射线成像计划等。外部计算中心管理诊所和医院中的医生，护士和护理人员到受护理者家中的整个拜访时间表，并管理拜访医疗，拜访护理，拜访护理，计费工作以及医疗的结果。提供办公室和医院的医疗费，以及所管理药物的账单。[选型图]图1

